白井市地域公共交通活性化協議会委員委嘱状交付式
及び平成３０年度第１回白井市地域公共交通活性化協議会
＜議事概要＞

日　　時：平成３０年７月９日（月）　午後３時から午後５時まで
場　　所：白井市役所　東庁舎１階　会議室１０１
出席委員：伊藤道行会長、板谷和也副会長、野口和雄委員、飯塚辰雄委員、吉田修一委員、徳永敬委員、大橋淳一委員、柴崎俊哉委員、成田斉委員、高中英樹委員、黒添誠委員、髙山弘美委員、今井庄一郎委員、鈴木昇委員、飯塚孝廣委員、篠塚浩委員、町田英之委員（代理　銅達夫委員）、滝田潔委員、佐藤裕子委員、中村幸生委員、金井勉委員、伊藤常夫委員、小泉淳一委員　２３名
欠席委員：鈴木栄一郎委員　１名
傍 聴 者：４名

１　開会

２　委嘱状交付式

（１）委嘱状交付

任期満了に伴い、白井市地域公共交通活性化協議会の委員となるもののうち、市職員を除いた１８名へ伊澤市長から委嘱状を交付した。

（２）市長挨拶

・本日は大変お忙しい中、またお暑い中、協議会及び委嘱状交付式に御参加いただきありがとうございます。先週から西日本を中心とした豪雨により、大変甚大な被害が出ております。犠牲になった方々の御冥福と一日も早い復旧・復興を願うばかりです。
・白井市は、首都近郊から３０km、成田空港から３０km と地理的には大変恵まれた地域にあります。また、東西に北総鉄道、南北には国道１６号と大動脈が交差する地域となっており、特徴としては、もともと農業を中心とした街で、千葉ニュータウン入居開始までは、約１万４０００人であった人口が、現在では約６万３７００人となっております。当時入居された方々の多くは、鉄道を利用して都心へ通勤していたことと思います。
・しかし、人口推計では２年後に人口減少に転じ、また交通手段も多様化することから、交通の課題に対して、限られた資源を活かしながら、より市民の生活が便利になるような交通体系をこの地域公共交通活性化協議会を通じ、皆様と一緒に作ることで、住んでよかった、住み続けたいと思っていただくまちにしていきたいと思っております。
・市民のための交通網の形成を、さらに進めて行きたいと思っておりますので、この後の会議でもそれぞれの立場・経験から、適切なる御指導をお願いしたいと思います。

（３）委員自己紹介

【事務局から出席委員２３名を紹介。委員一人ひとりが自己紹介を行った。】

【事務局紹介】
事務局職員を紹介

３　平成３０年度第１回白井市地域公共交通活性化協議会

委嘱後第１回目の会議となり、会長が選任されていないことから、会長の選任までは事務局が進行

（１）会長・副会長の選任について

【事務局】

・それでは、次第に従いまして議事を進行させていただきます。

【事務局より資料１・２に沿って協議会について説明】

・会長の選任については委員の互選により選出することとなっておりますが、当協議会では協議会内で定めた運営要綱により選出方法を規定しており、運営要綱第３条第１項で会長は、『協議会の会長は市職員の中からこれを充てる。』とされております。従いまして、会長には前期の会長でもありました当市の副市長である、伊藤道行委員を会長とさせていただきたいと思いますが、御了承いただけますでしょうか。

【異議なしと言う声有り】

・それでは伊藤道行委員を会長とさせていただきます。以降の進行については会長にお願いいたします。

【会長】

・議事の選任には副会長の選任も含まれております。副会長は会長が指名する者をもって充てるとされているので、私の方から指名をさせていただきます。
副会長には、中部運輸局の地域公共交通コーディネーターを務められるなど、公共交通分野の専門家でもあり、昨年度、計画の策定の際にも、数々の御助言をいただいた板谷和也委員にお願いしたいと思いますが、皆様いかがでしょうか。

【異議なしと言う声有り】

・異議がないようですので、板谷委員を副会長とさせていただきます。どうぞ、よろしくお願いします。

（２）その他

・白井市地域公共交通網形成計画について

【会長】

・続きまして、本日の議題の（２）その他といたしまして、事務局から本年３月に策定いたしました「白井市地域公共交通網形成計画」について説明があり、説明の後に、板谷副会長から公共交通についてお話をいただく予定となっております。

・計画の説明について、事務局からお願いします。

【事務局より資料に沿って説明】

【会長】

・御質問、追加の説明を求めたい事項がありましたら、遠慮なく御発言のほどお願いいたします。

【委員】

・P.9 の「白井市における将来公共交通ネットワーク　イメージ図」において、青い点線で囲まれている５つの区域がありますが、コミュニティバスとしては点線の範囲だけを走り、地区を越えて走ることはしないということなのでしょうか。

【事務局】

・この図は、本計画におけるイメージ図となります。計画策定時のアンケートにおいて、コミュニティバスのルートが非常にわかりにくいといった意見が多くあったものを解消するため、わかりやすくなるように、コミュニティバスの対応エリアを地域に区切って、４つの青い点線で示したものです。

今後検討していくにあたっては、必ずしも点線の中だけで対応するだけでなく、P.9 下の検討上の留意点に書かれているとおり、第２地区については、「駅と直接結ぶルートを必要に応じて検討する」といったことなども含めまして、考えていくこととしています。

【委員】

・西白井駅や白井駅の結節点がありますが、千葉ニュータウン中央駅や小室駅は考えていないのでしょうか。私は第二小学校区の者ですが、国道１６号を越えるまで車が混んでいます。工業団地の中に結節点を設け、白井駅・西白井駅へ行くよりも快速の停まる千葉ニュータウン中央駅へ行くほうが便利ではないでしょうか。

【事務局】

・計画の目標を定めるにあたって、白井駅・西白井駅・工業団地を交通結節点として具体的に示していますが、これ以外にも結節点になりえるところはあろうかと思います。たとえば P.9 のイメージ図の中にグレーの丸が書かれている部分があり、千葉ニュータウン中央駅や民間バスの車庫となっている部分が考えられます。

しかし、まずは交通結節点として整備していくものを、白井駅・西白井駅・工業団地としてこの計画を進めることを考えているものであり、他にも結節点となりうるべきところがあれば、合わせて整備を進めていくことが必要であると考えております。

【委員】

・いつもバスが通るのを見ていますが、乗客があまり乗っていません。乗車率はどれくらいになっているのでしょうか。もし乗車率が低ければ、バスを小さくして運行の回数を増やす方が、経費がかからないのではないでしょうか。

【事務局】

・乗車率については、平成２９年度の一日の平均利用者で回答いたしますが、１便辺り１４．２人となっております。ルートによって差異があるため、一概に判断することは難しいですが、バスの小型化については、計画の P.15「事業３　コミュニティバスの運行サービスの見直し」に、「地区の需要に応じた小型車両の導入の検討」ということで示しております。

また、現在の循環バスの車両は、小型バスという種類になっており、これより小さいとなると、ワゴン車での運行や定時・定路線の乗り合いタクシーといったところも含め、検討していきたいと考えております。

【会長】
・そのほか御質問がなければ、白井市地域公共交通網形成計画についての説明は以上をもって終わらせていただきます。この後、板谷副会長による講話に移りますが、準備の都合がありますので、１６時１０分まで休憩の時間といたします。

・講話
【事務局】
・それでは時間となりましたので、板谷副会長からお話をいただきたいと思います。それではよろしくお願いいたします。

テーマ　「大都市郊外のこれからの交通のあり方」
講　師　　流通経済大学経済学部　板谷　和也教授

・その他
【会長】
・事務局から連絡事項がありましたらお願いします。
【事務局】
・次回の会議は１１月頃を予定しており、委員の方にはできるだけ早く日程を示させていただきます。
【会長】
・以上をもちまして平成３０年度第１回白井市地域公共交通活性化協議会を閉会いたします。

４　閉会